

『省エネ性能に優れた断熱性の高い住宅の設計ガイド』を公開

- 省エネ性能に優れた断熱性の高い住宅を実現するため、設計者に向けてのポイントを整理し簡潔に解説
- 断熱性の高い住宅との組合せによる省エネ促進と災害時・非常時の備えとしてレジリエンス性向上に資する設備についても紹介

一般社団法人 環境共生まちづくり協会（会長：竹中宣雄、以下「kkj」）は、脱炭素社会の実現を目指す上で、今後、更なる普及が望まれる高断熱住宅において、適切かつ積極的に検討すべき計画・設計に関する情報の整備と普及を図るため、『省エネ性能に優れた断熱性の高い住宅の設計ガイド』を発行し、kkj ウェブサイト上で公開します。

断熱性が極めて高い住宅の設計は従前の住宅設計とは異なる面が多々ある一方、これらを取りまとめた資料や「住まい方」と連動して整理された設計の考え方に関する資料は十分に整備されていない状況にあります。

省エネ性能に優れた高い断熱性の住宅の設計の考え方を整理することは、断熱性向上のために極端に開口率を低下させることで逆に暖冷房負荷が増加してしまうといった状況や、多種多様にわたる設備機器の適切な選択方法に対応することができます。

こうしたことをふまえ、本ガイドは、断熱性の高さを活かしたより豊かな生活、更なる省エネを実現するために、省エネ性能に優れた断熱性の高い住宅における計画・設計上の積極的に検討すべきポイントを簡潔に解説しています。

また本ガイドは、断熱性の高い住宅性能を発揮させるための住まい方や住みこなし方を整理した「省エネ性能に優れた断熱性の高い住宅を住みこなす住まい方ガイド」（令和6年3月公開）と表裏一体をなすものです。今後、両ガイドの活用を通じて設計者と住まい手双方のコミュニケーションを図ることで、設計内容とそれに適した住まい方に対する理解を深めるとともに、断熱性の高い住宅の普及に資するものと考えます。

kkj は、住まいのづくり手やエンドユーザーに役立つ情報を積極的に発信するなどの協会活動を通じて、カーボンニュートラル、レジリエンス向上など持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

『省エネ性能に優れた断熱性の高い住宅の設計ガイド』の主な内容

1. 住宅性能表示制度における断熱等性能等級 6、7 の住宅について
2. 省エネ性能に優れた断熱性の高い住宅の設計ガイドの構成
3. 省エネ性能に優れた断熱性の高い住宅の設計ガイド

視点1：季節・方位・時間に応じて日射を調整できる設計
視点1の概要

- ①開口部・開口部材による日射調整
 - ②軒・庇と日射遮蔽部材の組合せによる外部での日射調整
- ※プランニング（平面計画・断面計画）による日射調整
※外構・植栽による日射調整
- 住宅の設計内容と望ましい住みこなし方の理解を深めるための【住まい手とのコミュニケーションのポイント 1】

視点2：家中を快適にするための適切な暖冷房設備・換気設備の設置
視点2の概要

- ①適切な暖冷房設備の選定
 - ②暖冷房方式と設置位置
 - ③快適な室内空気環境の維持
- ※断熱性の高さを活かした空間構成
※中間期における通風・換気による排熱
※設備機器等の制御（エネルギーマネジメント）
- 住宅の設計内容と望ましい住みこなし方の理解を深めるための【住まい手とのコミュニケーションのポイント 2】

視点3：レジリエンス性の向上
視点3の概要

- ①住宅の高断熱化によるレジリエンス性の向上
- ※断熱性の高い住宅との組合せによる省エネ促進とレジリエンス性向上に資する設備の例
1. 太陽光発電システムの利用と災害時・非常時への備え
 2. 蓄電池の利用と災害時・非常時への備え
 3. エネファーム（家庭用燃料電池）の利用と災害時・非常時への備え
 4. 高効率（貯湯タイプ）給湯機器の利用と災害時・非常時への備え
- 住宅の設計内容と望ましい住みこなし方の理解を深めるための【住まい手とのコミュニケーションのポイント 3】

4. 参考資料

- 参考資料 4-1 等級 6、7 の断熱仕様例（開口部含む）
参考資料 4-2 JIS による気密測定方法の例
(JIS A 2201:2017)

【設計ガイドの入手先】

https://www.kkj.or.jp/contents/build_hoiyoigyo/index.html#01



【この件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人 環境共生まちづくり協会 (kkj)
事務局：長谷川
TEL 03-6265-3242
FAX 03-6265-3243
E-mail : jimukyoku@kkj.or.jp